

(1) げんきづくり for VITALIZATION

①基本目標

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
人口の社会増（人）	-198	(H26)	-124	-93				100人
20歳代転出者数の縮減（人）	1,202	(H25)	1,212	1,158				1,100人
観光入込数の増加（人）	720,000	(H25)	887,532	1,358,338				1,000,000人
商業・サービス施策に関する市民満足度の向上（%）	39.9%	(H25)	45.6	34.4				50.00%

②施策ごとの重要業績評価指標

施策1 学園のまちの特色を活かし、市民と大学等教育機関が連携し、まちを活性化する。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
大学等と連携した新たなイベントの開催数（回）	—	—	0	0				延べ3回
大学等と連携した新たなイベントの参加者数（人）	—	—	0	0				延べ1,000人
若者を中心とした活気がある街だと思える市民割合（%）	—	—	27.1	30.4				60.00%

施策2 首都圏の近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたいくなるような魅力をPRする。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
観光PRが盛んだと感じる市民割合（%）	—		19.2	19.6				60.00%
移住定住ホームページへのアクセス件数（件）	—		2,111	3,058				70,000アクセス
年間転入者数（人）	3,210	(H26)	3,261	3,167				3,300人
体験農園開設数（箇所）	5	(H27)	5	5				7箇所

施策3 地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
公共施設（東金アリーナ・東金文化会館・公民館・図書館・児童館・老人福祉センター）の年間利用者数（人）	561,995	(H26)	565,021	540,404				650,000人
公共施設に満足している市民割合（%）	—		53.3	53.5				60.00%

【検証】

「観光入込数の増加」が大幅な伸びを示していることから、地方創生先行型交付金を活用した八鶴湖の浚渫等景観維持・周辺地域におけるイベントの充実や、加速化交付金による八鶴湖環境整備及び情報誌作成が一定の成果を上げたのではないかと考えている。

しかし、個別の施策及び数値目標を見ると、昨年度に引き続き「若者を中心とした活気がある街だと思える市民割合」「観光PRが盛んだと感じる市民割合」「移住定住ホームページへのアクセス件数」が低い数値を示していることから、大学との連携や移住定住ホームページに誘導させる仕組み作りについて検討していくべきであると考えます。

なお、これらを受け、平成29年度は、「大学との連携によるイベント」や「新たな移住定住ホームページ（TOGANE Life）作成」を実行したところであり、数値目標の改善が期待できるところである。

【実施した主な施策】

・大学連携強化事業 ■ 施策1

千葉地方圏における人材育成や雇用創造を図るため、千葉大学が展開する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」に城西国際大学と市が参画した。

・八鶴湖周辺にぎわい創出事業 ■ 施策2

地方創生加速化交付金を活用し、九十九里町との連携により、観光情報等を掲載した情報誌を作成した。

・インターネットメディア整備推進事業 ■ 施策2

地方創生推進交付金の採択を受け、事業に着手した。

・2020年東京オリ・パラ事前キャンプ誘致事業 ■ 施策2

県が主催する官民連携組織の分科会として周辺自治体と連携しキャンプ誘致を推進してきた。H28はケニア陸連との誘致交渉を進め、H29.1にはケニア国大使の東金アリーナ視察を受入れ、競技施設の施設的な優位性をPRした。（ケニアは後に他団体と契約）

(2) みらいづくり for NEXT GENERATION

①基本目標

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
合計特殊出生率の向上	1.34	(H25)	1.32(H26)	1.28				1.6
子育て世代（20歳～49歳）の転出者数（人）	1,858	(H25)	1,878	1,767				1,700人
子育て世代（20歳～49歳）の転入者数（人）	1,781	(H25)	1,677	1,535				1,900人
子育て支援施策に関する市民満足度の向上（%）	50.40%	(H25)	52.5	58.1				60.00%

②施策ごとの重要業績評価指標

施策1 安全面や経済面から子育て世帯を支援する。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
保育所の待機児童数	6	(H25)	2	1				0人
学童保育の利用学童数	4,145	(H25)	5,254	4,943				5,000人

施策2 出会いから子育てまで切れ目なく支援する。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
婚活支援事業の開催回数	—		0	0				延べ3回
婚活支援事業の参加人数	—		0	0				200人
婚活支援事業により結婚に結びついた組数	—		0	0				5組
不妊治療に対する助成事業の利用件数	41	(H25)	52	14				50件
家庭児童相談室の相談件数	124	(H25)	115	164				140件

施策3 教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
ファミリーサポートセンター会員数	225	(H25)	234	243				250人
不登校児童・生徒の人数	60	(H25)	78	78				減少
防犯指導員数	193	(H26)	213	214				250人
家庭児童相談員数	1	(H27)	1	1				2人

施策4 働きながら生み育てやすい環境をつくる。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
ワークライフバランスに取り組んでいる企業数 (くるみんマーク取得企業数)	—		4	4				4社
認定こども園の設置件数	—		0	0				11園

【検証】

子どもたちを生み育てやすい環境を整備するため、「防犯カメラの設置等による防犯インフラの整備」や「子ども医療費扶助事業」などを着実に実施することができた。また、東千葉メディカルセンター内に「分娩対応可能な産婦人科」を開設することができたことは、「出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目のない施策」の実現に向けての大きな一歩であると考えている。

その一方で、入り口部分である“出会い”につながるようなイベント等（婚活支援事業）を実施できなかったことは平成29年度以降の課題であり、早期に実施していきたいと考える。

【実施した主な施策】

- ・防犯カメラの設置等による防犯インフラの整備 ■ 施策1
防犯カメラ5台・防犯灯65灯を設置した。
- ・子ども医療費扶助事業 ■ 施策1
中学3年生までの児童の入院・通院及び調剤に対し、医療費の一部を助成した。
- ・家庭教育振興事業 ■ 施策2
市内8幼稚園で、親と子どものコミュニケーションを高める講演など保護者を対象に事業を実施した。

(3) まちづくり for COMFORTABLE CITY

①基本目標

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
都市基盤施策に関する市民満足度の向上 (%)	51.3%	(H25)	57.1	58.3				61.00%

②施策ごとの重要業績評価指標

施策1 交通機能を使いやすく改善し、安全で便利なまちにする。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
防災施策に関する市民満足度の向上 (%)	49.7%	(H25)	57.2	58.4				60.00%
高速バス本数	77	(H27)	77	77				90本
JR東金駅の一日平均利用者数	4,450	(H25)	4,356	4,339				5,000人

施策2 市民や来訪者など多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくる。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
公園・緑地施策に関する市民満足度の向上 (%)	49.8%	(H25)	54.4	55.4				60.00%
みのりの郷東金の来場者数 (直売所レジ通過者数)	274,002	(H26)	286,970	296,867				500,000人
(来場者数)			380,000	670,000				
移住定住ホームページへのアクセス件数	—		2,111	3,058				70,000アクセス

施策3 市と市民が協働で安心して住み続けられるまちをつくる。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
自治会の加入率 (%)	69.3%	(H25)	66.1	65.7				70.00%
交通事故発生件数	268	(H26)	233	248				240件
犯罪認知件数	870	(H26)	800	700				770件

施策4 快適な住まいの場を提供し、新たな定住者を迎え入れる。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
市内住宅数	29,100	(H25)	29,575	29,688				30,000件
転入支援策等の利用件数			18	56				延べ300件
U・Iターンによる移住者数			-	-				10件

【検証】

定住する意思を持って新築住宅を取得したものに対する補助制度を創設することで、移住定住に向けての受け皿作りができたと考えている。

また、九十九里町との連携による観光情報誌「るるぶ東金・九十九里」を作成し、イベント等で配布するとともに、旅行代理店各店舗に配架したことで、既存観光資源の効果的な発信ができたと考えているが、その一方、移住定住ホームページへのアクセス数が伸び悩んでいることから、対策を講じることが急務である。

【実施した主な施策】

・みのりの郷東金情報発信事業 ■ 施策2

全国、関東、千葉県などの道の駅連絡会による施設の案内の情報発信（HPやチラシなど）を行なった。

また、新聞折込など広告等により来客数が増やすことができた。

・観光PR事業 ■ 施策2

東金市の観光PR用にポスターやチラシ及び観光パンフレットを作成し、県内外で実施した観光キャンペーンにおいて配布した。

また、各種の観光情報誌やホームページへの情報提供を行い誘客を図った。

・転入希望者への支援策の充実（中・長期で検討する事業） ■ 施策4

定住する意思を持って新築住宅を取得したものに対し補助制度を創設した。

・戸建住宅購入者への支援（中・長期で検討する事業） ■ 施策4

同上

(4) しごとづくり for JOB CREATION

①基本目標

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
市内事業所数の増加	2,383	(H24)	2,435	2,435				2,500事業所
市内事業所従業者数の増加	23,029	(H24)	23,146	23,146				25,000人
勤労者対策施策に関する市民満足度の向上 (%)	36.20%	(H26)	38.7	43.2				45.00%

②施策ごとの重要業績評価指標

施策1 豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
地域産業資源の活用による新たな商品等の創出件数	—		1	0				3件
認定農業者数	69	(H26)	105	108				110経営体

施策2 人の流れを促し雇用を創出する新たな産業の導入・育成を図る。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
創業相談件数	—		0	0				8件
新たな産業施策に関する市民満足度の向上 (%)	35.6%	(H25)	37.7	46.0				45.00%

施策3 多様な選択肢が可能となるよう生活と仕事の両立に向けた取組みを進める。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
ワークライフバランスに関するコンサルタント数	—		2	2				10人

施策4 ニーズが高い健康・福祉部門を充実させながら雇用を創出する。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
看護師養成修学資金貸付制度を利用し、東千葉メディカルセンターに就職した人数	—		14	16				60人
介護サービス施設数	16	(H27)	16	16				18施設

【検証】

ワークライフバランスについて、地方創生交付金を活用して実施する予定であった「企業とコンサルタントの増加を目指す取組み」は、交付金が不採択となり実施が困難となってしまったため、数値目標の達成が困難となっているが、ワークライフバランスの整備は喫緊の課題と考えるため、啓発をメインとする取組に変更するなど、事業の見直しに着手したいと考える。

また、昨年度に引き続き、看護師養成修学資金貸付により、東千葉メディカルセンターに一定数の看護師を確保できた。平成28年度からの枠を増加させ、早期の目標達成を実現したいと考えている。

【実施した主な施策】

・大学連携強化事業 ■ 施策2

千葉地方圏における人材育成や雇用創造を図るため、千葉大学が展開する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」に城西国際大学と市が参画した。

・看護師養成就学資金貸付 ■ 施策4

○修学資金の支給

第2～4期生（平成25～27年度貸付決定者）修学金100万円×45人＝4,500万円

第5期生（平成28年度貸付決定者）入学支度金50万円×19人＝950万円・修学金120万円×19人＝2,280万円・中途貸付者（1人）10万円（合計3,240万円）

○ガイダンス（8/8）の実施

東千葉メディカルセンターに関する情報提供のほか、看護師との交流を図った。

(5) きずなづくり for FRIENDSHIP

①基本目標

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
地域間連携が進んでいると感じる市民割合	—		20.7	21.7				60.00%

②施策ごとの重要業績評価指標

施策1 ともに生活する地域がひとつになり、水準を落とさずに効率的に運営する。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
地域中核病院の東千葉メディカルセンターを中心とした東金市の医療体制に満足している市民の割合	—		56.1	56.9				70.00%

施策2 便利で快適、安心・安全な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。

数値目標	基準値		実績					目標値
	数値	基準年度	H27	H28	H29	H30	H31	
友好都市との交流者数	80	(H26)	59	149				120人
移住定住ホームページへのアクセス件数	—		2,111	3,058				70,000アクセス

【検証】

九十九里町との連携により、地方創生加速化交付金を共同申請し作成した観光情報誌「るるぶ東金・九十九里」は、観光入込客数の増加等大きな効果があったが、その一方で、同じく九十九里町との連携により立ち上げた「移住定住ホームページ」については、アクセス数が目標値を大きく下回っており、「地域間連携が進んでいると感じる市民割合」は微増にとどまってしまった。

平成29年度は、九十九里町との連携によるイベントの開催や、その他市町との連携についても検討することで、数値の改善に努めたいと考える。

【実施した主な施策】

・医療センター推進事業 ■ 施策1

地方独立行政法人法に基づき設立団体が行う中期目標の変更、中期計画の変更の認可、各種届出の受理等の事務を行った。

また、評価委員会を3回開催し、法人の前年度の事業評価等を行った。

☆ 補足説明資料

公共施設の年間利用者数 (人)

施設名	H27	H28	前年比
アリーナ	166,970	168,954	1,984
文化会館	140,210	129,845	△ 10,365
公民館	135,978	123,390	△ 12,588
図書館	81,865	79,117	△ 2,748
児童館	31,853	31,226	△ 627
老人福祉センター	8,145	7,872	△ 273